

# 1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 1 地域社会との連携強化

施策1 地域団体との連携事業の推進

事業名		◎地域が一体となるイベントの実施				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	主体	支援	支援	支援	
28年度	取組内容	一過性のイベントに終わらずに店舗誘致等の形を残す取り組みをします。	事業者等が実施するイベント等に参加・協力します。	事業者等が実施するイベント等を企画又は支援します。	事業者等が実施するイベント等の運営協力、広報協力をします。	事業者等が実施するイベント等をPRします。
	達成状況	イベントとしての認知度は高いが店舗誘致には至っていない。	各イベントへの参加・協力を行った。	高砂町において当所青年部がふらっ灯パルを実施した。	朝ごぼん市などのPRに協力した。 NFI・まちなかパルチケットの販売協力。	各団体が実施するイベント等のチラシを市内の公共施設に配布するなどPRを行った。
	自己評価	B イベントとして定着はしたがまちとの連携が成されていない。	A イベントが定着し、集客が増加した。	A 出店者数、集客数ともに目標は達成することができた。	A 目標通り支援を行うことができた。	A 公共施設への配布や、広報、市ホームページ等を使って十分にPRができた。
	今後の方向性	継続 自治会や他団体とも積極的に連携を進める。	継続 今後も事業者等が実施するイベント等に参加・協力する。	継続 高砂町だけではなくもう少し広げた地域で実施して行きたい。	継続 事業者イベントが観光事業につながるよう支援を継続する。	継続 事業者等が実施するイベント等を支援していく。
	第三者評価	A TVやチラシ等のPR効果がでている。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度	(平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)			
総合戦略	商業の活性化(◆商店街・商店の活性化イベント支援)					

事業名		◎空き家・空き店舗対策事業の実施				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	支援	支援	主体	支援	支援	
28年度	取組内容	地域団体(自治会)と連携しながらチャレンジショップ等をきっかけに出店を促す。	事業の推進に向けて協力します。	ATP事業を推進します。 チャレンジショップ事業に協力します。	ATP事業の推進に協力します。	空き家バンクの活用に向け取り組みます。 空き家・空き店舗を活用し開業(開店)する場合の支援策を検討します。
	達成状況	チャレンジショップ後の出店継続がネックになった。	物件の登録件数が少ない。	チャレンジショップ実施なし。平成27年度実施の事業所が1店舗継続。	会議に出席し積極的に意見交換、問題提起等を行った。	空き家バンク登録を推進するためパンフレットを作成等、PRの拡充を行った。
	自己評価	B 事業の見直しが必要	B 事業をもっと周知していく必要がある。	C 今年度成果なし	B 観光情報誌でのATP事業紹介などPRを行えなかった。	B バンク登録物件を増やことはできなかった。
	今後の方向性	継続 不動産業などプロの介入が必要	継続 今後も事業の推進に向けて協力する。	継続 引きつづきATP事業を継続。	継続 継続して、推進に協力する。	拡充 空き家情報システムを活用し、効果的に空き家活用を推進する。
	第三者評価	A 継続している店舗もみられることは成果				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度	(平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)			
総合戦略	空き家の利活用(◆空き家バンクの情報発信強化、掲載物件の拡大、○空き家活用に対する支援) 空き店舗の活用(◆空き家バンクの充実、◆空き店舗の活用への支援(起業支援、改修助成))					

# 1 基本目標 まちと商業の一体化

【施策の方向】 2 異業種・業態との連携推進

## 施策1 商業の新連携促進

事業名		◎共同事業の実施				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
28 年 度	取組内容	あきんどマガジンやクーポンアプリ事業等を通し新たな業種、業態との連携を深める。	新連携事業実施に協力します。	他市町村、異業種と交流する場を設けます。	日本三奇物産展（商業者）や、新兵庫史を歩く（TV局）など、他業種との連携事業に取り組みます。	商店街と大型店などが共同して実施する事業に対し支援します。
	達成状況	あきんどマガジンを年2回発行し新たな業種、業態との連携が取れた。	実施なし	2市2町会員大交流会を主管として実施した。	東京スカイツリーにて日本三奇PRは行っただが物産品の販売は無かった。	あきんどマガジンの配布に協力した。
	自己評価	A 新たな連携は取れたが販促に繋がる仕掛けが必要	C 実施なし	S マッチング会場を設定することにより、より充実した交流会を行うことができた。	B PRによる支援のみであった。	B 他団体が実施する事業の把握ができなかったため、事業支援・PRができていない。
	今後の方向性	継続 より連携を広くしました個々との連帯を深め意見などを多く取り入れたい。	継続 今後も新連携事業実施に協力していく。	継続 今後とも継続して2市2町会員大交流会を実施する予定。	継続 今後も積極的に取り組んでいく。	継続 今後も積極的に取り組んでいく。
	第三者評価	B 新たな取組みがない。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 （平成26年度～（平成28年度見直し）～平成32年度）				
総合戦略	商業の活性化（◆同業・異業種間との連携事業）					

## 2 基本目標 新たな個性の創出

【施策の方向】 1 個店の独自性の創出

### 施策1 個性ある個店づくり

事業名	◎既存商品の掘起し					
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
28 年度	取組内容	既存商品の発掘に加え新たな付加価値を付けよりクオリティを高めます。		既存商品の研究を支援します。勉強会・講習会などの情報を提供します。	新たに、推奨品を募集し、認定品の広報活動に努めます。	既存商品の掘起しの支援やPRを行います。
	達成状況	観光協会と協力し推奨品の開発を支援		観光協会の観光物産推奨品事業を支援した。	高砂市観光物産推奨事業を実施、広くPRした。	高砂市観光物産推奨品事業の取り組みに協力した。東はりま物産展(SMBC東京本店)において推奨品を販売しPRを行った。
	自己評価	A 観光協会の事業に協力した。	(S・A・B・C)	B PR等できる限りの支援を行った。	A リニューアルHPでの物産品紹介ページ作成、物産展開催、新聞での広告など様々な事業を実施した。	A 高砂市観光物産推奨品事業への協力や都市圏でのPRができた。
	今後の方向性	継続 個店に対し提案や協力をしていきたい。	( <del>拡充・継続</del> ・ <del>縮小</del> ・ <del>廃止</del> )	継続 今後ともPR等の支援を行いたい。	継続 今後も広くPRにつとめるとともに、高砂の個性的な特産となるよう支援する。	継続 今後も高砂市観光物産奨励品事業への協力や販路開拓に向けたPRを行っていく。
	第三者評価	A 既存商品の再発掘				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	商業の活性化 (◆市内商店の高付加価値化、個性のある個店づくりへの支援)					

## 2 基本目標 新たな個性の創出

【施策の方向】 2 魅力ある商業地の創出

### 施策1 商店街の活気づくり

事業名		◎空き家・空き店舗を活用したイベントの開催				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
28年度	取組内容	引き続き朝ごはん市や松の子本舗の開催に協力すると同時に商店街への出店の誘致を積極的に行う。	イベント開催に向け参加・協力します。	松の子本舗を開店します。イベント開催に向けて商業者に協力を要請します。	各出店者及び関連団体の開催イベントをPRします。	イベントの開催についてPRします。
	達成状況	取り組みとしての達成感はあるが成熟まで至らない。	イベントに参加した。	松の子本舗の開業	実施なし	イベントの開催について、チラシ・ポスターを公共施設に配布するなどPRを行った。
	自己評価	B チャレンジショップ等の取り組みの評価はあるが今後を見据えた商店街づくりを考えるべき。	A イベントはそれぞれ集客が出来ている。	B 松の子本舗の開業を商店街として上手く使い切れていない。	C 具体的取り組みなし	B 公共施設に配布しイベントのPRを行った。
	今後の方向性	(拡充・継続・縮小・廃止)	(拡充・継続・縮小・廃止)	(拡充・継続・縮小・廃止)	(拡充・継続・縮小・廃止)	(拡充・継続・縮小・廃止)
	第三者評価	B 成果有り。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成28年度)				
総合戦略	商業の活性化 (◆商店街・商店の活性化イベント支援)					

事業名		◎ポイントサービス等の実施				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
28年度	取組内容	実施に向けて検討します。	にこにこポイント制度実施に向け協力します。	事業者等の意見を集約します。市内全域で実施できないか検討します。	実施に向けて支援します。	にこにこポイント制度導入に伴い電子マネーカードを導入する市内商店の支援策を検討します。
	達成状況	取扱店が少ない。	にこにこポイント制度実施に協力した。(WAONカード作成、ポイント付与事業への参加)	にこにこポイントカードの普及に協力した。	イベント配布用観光誌袋へクーポンマガジンを封入し、多くの人に、手に取っていただけるよう協力した。	にこにこポイント取扱店が23店舗となった。
	自己評価	C 利用者にとってのメリットをより考える必要がある。	A WAONカード作成やポイント付与事業への参加を行った。	B にこにこポイントカードの利用が少ない。	A 幅広く、配布できるよう協力する事ができた。	A ポイントカードは想定どおり発行されている。
	今後の方向性	継続 広域でのポイントカードの有効性を再度検証する必要がある。	継続 にこにこポイント制度の促進に向け協力する。	継続 にこにこポイントカードの利用促進に協力していく。	継続 支援活動を継続する。	継続 今後も等ポイント取扱店を増やすとともに電子マネーカード導入のPRを行う。
	第三者評価	A ポイントについてのPR必要				
短・中長期の別	中長期的施策	実施年度 (平成26年度～平成31年度)				
総合戦略	商業の活性化 (○市内商店への電子マネーカード制度の導入支援)					

### 3 基本目標 可能性の創出

【施策の方向】 1 創業（開業）支援

施策1 創業に役立つ情報発信の充実

事業名		◎創業者向けセミナー等の充実				
実施主体		商業者 支援	住 民 支援	商業団体 主体	観光協会 支援	行 政 支援
28 年 度	取組内容	創業者向けセミナー等の充実に向け意見・要望します。		創業者向けセミナーを開催します。	観光振興につながる事業の創業について支援します。	創業者向けセミナーをPRします。
	達成状況	未達成		創業者向けセミナーを実施した。	実施なし	創業塾のPRを行った。
	自己評価	C 情報等があれば提供します。	(S・A・B・C)	A 個別支援も実施しそれなりの成果を上げつつある。(年4回開催、参加者11名)	C 実施なし	B 創業塾のPRができた。
	今後の方向性	継続 積極的に参加また提案する。	(拡充・継続 縮小・廃止)	継続 今後も創業者向けセミナーを実施する。	継続 観光振興につながる事業の創業について支援する。	継続 ソーシャルビジネス等の創業セミナーの検討を行う。
	第三者評価	C	補助金情報の提供など充実してきた。ただ全体としては前年とあまり変化なし。			
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成29年度)				
総合戦略	創業（起業）支援（◆若者、女性向け創業支援）					

### 3 基本目標 可能性の創出

【施策の方向】 1 創業（開業）支援

施策2 創業時のサポート体制

事業名		◎創業者向け支援制度創設の検討				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	支援	支援	支援	支援	主体	
28年度	取組内容	創業者向け支援制度創設に向けて内容を協議します。		開業希望者に対して積極的に個別支援を行います。	観光振興につながる事業の創業について支援します。	空き家・空き店舗を活用し創業する者に対する支援策を検討します。
	達成状況	一部達成		実施なし	実施なし	創業支援として保証料補助、利子補給制度を設けた。空き店舗等の活用に限定した支援制度も検討した。(利子補給制度利用者4名)
	自己評価	B 空き店舗を活用し創業する者に対し支援制度の説明等をした。	(S・A・B・C)	C 要望が掴みきれしていない。	C 実施なし	A 創業者向け支援制度を実施できた。
	今後の方向性	継続 今後も引き続き情報収集や提供に向け支援する。	(拡充・継続・縮小・廃止)	継続 具体化出来るように要望を捉える努力をする	継続 観光振興につながる事業の創業について支援する。	拡充 空き家・空き店舗に限定した支援制度を検討する。
	第三者評価	B 随時創業者等への個別相談枠など新たな制度の検討必要				
短・中長期の別	中長期的施策	実施年度 (平成26年度～平成30年度)				
総合戦略	創業（起業）支援（○創業者向け市融資または支援制度の実施）					

事業名		◎チャレンジショップ				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	主体	支援	支援	
28年度	取組内容	チャレンジショップにとどまらず継続営業出来る店舗の発掘をする。	チャレンジショップの実施に向け協力します。	チャレンジショップの募集、取りまとめを行います。	ATP事業の一環としてのチャレンジショップを支援します。	チャレンジショップ事業実施を支援します。
	達成状況	実施なし	実施なし	実店舗を持たない方や概ね起業5年以内の事業者対象にチャレンジマーケット開催に向け取り組んだ。	実施なし	チャレンジマーケット開催に向け協力した。
	自己評価	C 実施なし	C 実施なし	B 平成29年6月4日開催に向け取り組んだ。	C 実施なし	B チャレンジマーケット実施に向け協力した。
	今後の方向性	継続 チャレンジショップにとどまらず継続営業出来る店舗の発掘をする。	継続 今後もチャレンジショップの実施に向け協力していく。	継続 チャレンジマーケット開催に向け取り組む。	継続 ATP事業の一環としてのチャレンジショップを支援する。	継続 チャレンジマーケットやチャレンジショップ実施に向けて協力・支援する。
	第三者評価	C 実施もなく、再検討必要				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成29年度)				
総合戦略	空き店舗の活用（◆チャレンジショップの開催）					

### 3 基本目標 可能性の創出

【施策の方向】 2 商業者育成の推進

施策3 後継者の育成

事業名		◎まちづくりワークショップ、勉強会等の開催				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
28 年 度	取組内容	まちづくりワークショップ等の開催を検討します。	まちづくりワークショップ等の開催に協力します。	まちづくりワークショップ等の開催に協力します。	まちづくりワークショップ等の開催に協力します。	地元リーダーづくりセミナーの開催を支援します。
	達成状況	まちづくりワークショップを協同で開催した。	実施なし	予算立てができず実施なし。	実施なし	実施なし
	自己評価	A 若い方も集まり一定の効果はあった。	C 実施なし	C 継続して実施するべきである。	C 具体的取組みなし	C 実施なし
	今後の方向性	継続 今後も中身のあるワークショップを開催する。	継続 まちづくりワークショップ等に参加・協力していく。	継続 将来の人材育成には必要である。	継続 観光客の体験型観光に結びつくようなワークショップを支援する。	継続 まちづくりワークショップ等の開催支援を行う。
	第三者評価	A 空き店舗入居・活用など若い人が集まれる基盤は出来つつある。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～平成32年度)				
総合戦略	地域づくり・人づくりの支援(◆まちづくりリーダーの育成)、空き店舗の活用(◆まちづくりリーダー養成)、商業の活性化(◆後継者育成への支援)					

#### 4 基本目標 魅力を活かす

【施策の方向】 1 まちの魅力活用

施策 魅力活用の推進

事業名		◎（商店街を活用し）高砂の魅力を活用したイベントの実施				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
28 年 度	取組内容	商店街内の店舗に高砂らしい商品の展示をします。	イベントの実施に向けて協力します。	商業施設等を活かしたイベントを開催します。	イベントを実施した際にPRします。	イベントの実施に向け支援します。
	達成状況	観光協会と協力し計画を進めたい。協力し高砂の物産などの紹介や販売が出来た。	イベント実施時に参加した。	8月26日・27日ふらっ灯バルを実施した。	たかさご万灯祭にあわせ、観光協会推奨品の物産展を実施、たかさごの魅力ある商品をPRした。	バルなどの実施に向け、市のHPや広報誌でイベントを紹介した。
	自己評価	A 新たなコラボ商品などの企画や開発を考えたい。	B イベント実施時に参加した。	A 昨年以上の集客を図ることができた。	A 多くの方々に高砂の魅力ある商品を知っていただけるイベントとなった。	A バルなどの実施に向け、広報などで協力できた。
	今後の方向性	継続 高砂染や松衛門帆布などのコラボ商品を考えたい。	継続 今後も実施時には協力していく。	継続 今後も補助金を活かしたイベントを実施予定。	継続 今後も高砂の魅力を活用したイベントを推進していく。	継続 商店街・商店の活性化のイベントを支援していく。
	第三者評価	A 銀座商店街などは多様なイベント開催で再評価されつつある。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				
総合戦略	商業の活性化 (◆商店街・商店の活性化イベント支援)					



## 4 基本目標 魅力を活かす

【施策の方向】 2まちの魅力発信

施策 PR活動の推進

事業名		◎マップ・情報誌の作成・配布				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	支援	支援	主体	支援	支援	
28年度	取組内容	マップ・情報誌に店舗情報やイベント情報、観光案内等の付加価値を加え掲載しPRします。	作成されたマップ・情報誌を活用しPRに協力します。	クーポン付情報誌（あきんどマル得マガジン）を発行します。	【主体】マップ・情報誌の作成・配布をします。	マップ・情報誌の作成・配布を支援します。
	達成状況	より魅力的な内容にする必要がある。	マップ・情報誌を活用し、市内各所やイベントをPRした。	あきんどマル得マガジンを2回発行。	観誌17を作成、配布した。	情報誌の作成及びあきんどマガジンの発行・配布を支援した。
	自己評価	A 定着はしたが内容の充実を計りたい。	A マップ・情報誌を活用し、市内各所やイベントをPRした。	A かなりの普及定着が見られる。	A 目標通り実施した。	A 情報誌、あきんどマル得マガジン発行・配布の支援ができた。
	今後の方向性	継続 内容の充実に加え広域も視野に考えていきたい。	継続 今後も活用及びPRに協力していく。	継続 興味を引く記事を掲載するとともに掲載店の拡充を図りたい。	継続 今後も観誌の発行を予定	継続 今後も作成・配布を支援する。
	第三者評価	A 継続的にPR活動がなされ評価できる				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				

事業名		◎ウェブサイトの活用				
実施主体	事業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	主体	支援	支援	
28年度	取組内容	アプリ事業をより魅力的な内容で商店情報だけに留まらず観光や行政情報ともリンクし、より広くPRします。	ウェブサイトの情報を活用しPRに協力します。	店舗のお得情報を発信するためのクーポンアプリを継続していきます。	【主体】ウェブサイトを活用し情報提供します。	ウェブサイトを活用し情報提供します。
	達成状況	年に2度あきんどクーポンマガジンと連動してアプリ事業を行った。	ウェブサイトの情報を活用しPRを行った。	クーポンアプリ事業を実施した。	FACEBOOK、HPなどで積極的に広報に努めた。	市のホームページやFacebook、観光情報などを提供している民間サイトを活用し、情報提供した。
	自己評価	B 内容の充実に加えより広くPRする必要がある。	B ウェブサイトの情報を活用しPRを行った。	A 活用がなかなか進まない。	A 特にFACEBOOKでの広報につとめた。	A 各ウェブサイトを活用し、イベントやまちの魅力をPRした。
	今後の方向性	継続 SNS（FB、Line）などと連動も視野に取り組みたい。	継続 今後も活用及びPRに協力していく。	継続 クーポンアプリ事業を継続する。	継続 HPの内容を修正、充実させる。	継続 今後もウェブサイトを活用し情報提供していく。
	第三者評価	A 集客目線のWEB作成				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				

## 5 市内主要地区重点施策

(1) 銀座商店街周辺を  
中心とした高砂地区

【施策の方向】 高砂町の歴史的な街並みを活かすとともに交流の拠点となる商店街づくり

事業名		◎空き店舗等を利用した定期的なイベントの開催（朝市など）				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
28 年度	取組内容	商店街の新たな再生に向け商店街への出店を促します。	朝市開催に向けて協力します。	朝市開催に向けて支援します。	朝市開催に向けて協力します。	朝市など開催を支援します。
	達成状況	定着し多くの出店者や集客が出来た。	イベントのPRを行った。	朝市の支援を行っている。	山陽電車への掲示などを行った。	（銀座商店街）毎月第3土曜日朝市開催に際し、PR及び駐車場の確保等を協力した。
	自己評価	A ボランティアスタッフが不足している。	A 各回、多くの参加者が集まった。	B 支援できることは出来るだけさせていたきたい。	A 目標どおり支援した。	A 朝市開催に際し、PRや駐車場の確保などの支援ができた。
	今後の方向性	拡充 地元大学などを空き店舗に誘致する。	継続 今後も協力していく。	継続 今後とも支援する。	継続 今後も支援する。	継続 商店街・商店の活性化イベント支援
	第三者評価	S イベントの盛り上がりがあり成果は評価できる。				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				
総合戦略	商業の活性化（◆商店街・商店の活性化イベント支援）					

(2) アスパ高砂

【施策の方向】 文化と協調した新しい形態でのショッピングづくり

事業名		◎生活情報の発信の拠点づくり				
実施主体	商業者	住 民	商業団体	観光協会	行 政	
	主体	支援	支援	支援	支援	
28 年度	取組内容	生活情報の発信や文化交流に向けて取り組みます。	生活情報の発信に向けた取組みに協力します。	生活情報の発信に向けた取組みを支援します。	生活情報の発信に向けた取組みに協力します。	市政情報を発信するため、情報掲示板の活用を努めます。
	達成状況	セントラルコートで、社会貢献活動に繋がる54事業を実施できた。	生活情報に関するイベントやセミナーに参加した。	実施なし	実施なし	市政情報を発信するため、情報掲示板を活用した。
	自己評価	A セントラルコートで、社会貢献活動に繋がる54事業を実施できた。	B 生活情報の発信源として利用した。	C 実施なし	C 具体的取組なし	A 他部署と協力して情報掲示板を活用することができた。
	今後の方向性	継続 社会貢献活動に繋がる事業を継続する。	継続 今後も利用していく。	継続 今後、出来る限情報発信の場として利用させていただきたい。	継続 他団体の事業などを広報誌などを使い発信していく。	継続 市政情報発信掲示板の活用を努めるとともに行政サービスの提供に向けて検討する。
	第三者評価	B より市民生活に密着した生活情報提供とサービスの提供を目指すべき				
短・中長期の別	短期的施策	実施年度 (平成26年度～(平成28年度見直し)～平成32年度)				